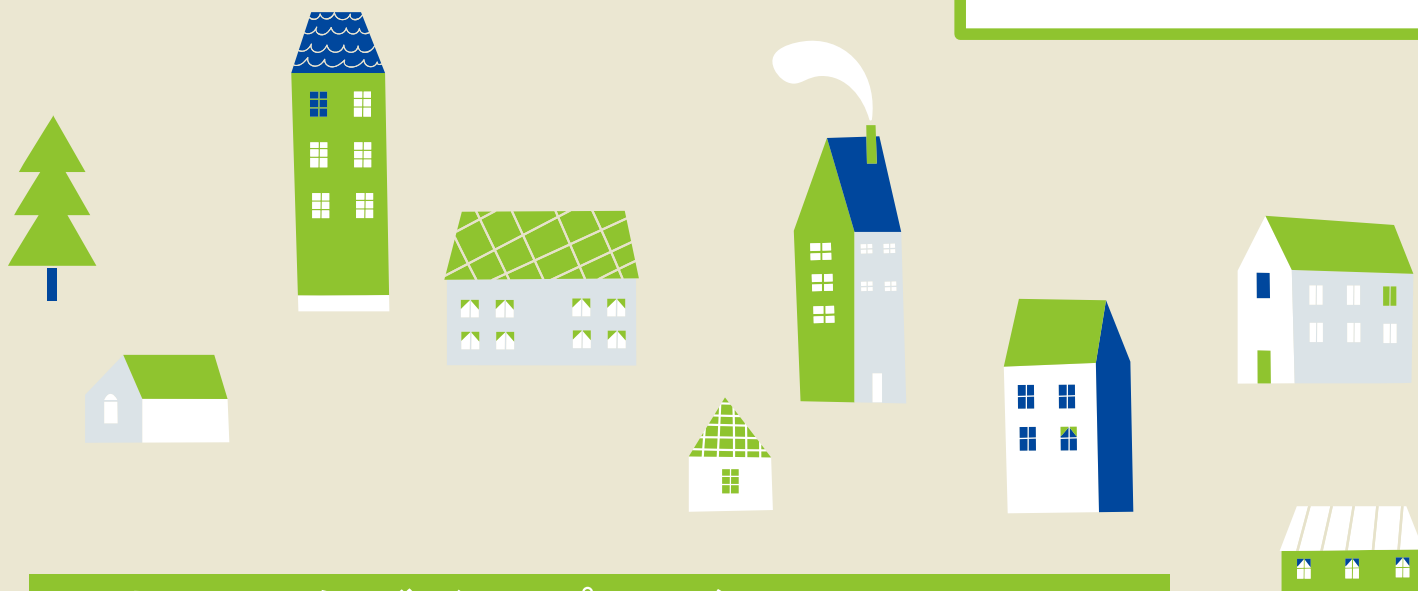


まちのつながり

プロジェクト

エリアビジョン・地域の価値を紡ぐ



2人のまちづくりプロデューサーが語る

エリアビジョンと3ヶ年の事業構想

令和3年4月24日(土) 19時00分～20時30分

視聴方法：お申し込みいただいたメールアドレスに視聴URLをお送りいたします。

収録場所：FUJIMI LOUNGE

ONLINE
参加費無料

当日スケジュール

- 1 1年間の振り返り(全4回実施した公演&トークセッション)
※富士見町お散歩動画(30秒)
- 2 地域のエリア特性分析(高橋氏)
- 3 地域コミュニティをつなぐ事業構想
(スタンブラリー+空き家トークイベント)(菅原氏)
- 4 3者によるトークセッション
- 5 令和3年度の事業スケジュール
- 6 次回のお知らせ

まちづくり
プロデューサーは
何をしてくれるの？

調布市が任命した「まちづくりの専門家」です。大学教授と建築家2人のプロデューサーの連携により、地域住民の視点やまちづくりの提案、成功事例の紹介イベントやトークセッションなど、様々な提案を行います。

みなさんと進めたいので参加者大募集！

富士見町の空き家所有者の方、空き家活用希望の方のご連絡をお待ちしています。

まちのつながりプロジェクトとは？

令和2年10月からスタートした調布市空き家エリアリノベーション事業です。この事業は、平成30年度のまち歩きからはじまり、地域住民の方々との意見交換、ワークショップ、トークイベントを重ねながら実施してきました。

地域住民の皆さまとまちづくりの専門家が連携し、創造する「まちのつながりプロジェクト」は、令和2年度から3ヶ年に渡るビジョンを描きました。

富士見町を想定した「エリアビジョン」を、2人のまちづくりプロデューサーに語って頂き、空き家をリソースにした未来のまちづくりを一緒に考えてみませんか。

調布市の空き家対策では「予防」という観点で、管理不全の空き家発生を抑制し、地域や市内関係団体と連携した取組を推進しています。



「空き家」のやりたい事が見えてくる

スマイのミライ ＼教えますナビ！



空き家の様々な「なぜ」を、相談と学びの2つの視点から、皆さんの疑問に答える便利ツール。空き家Q&A、解決へのヒント、セミナーやワークショップ情報、オンライン相談予約などなど。皆さんと一緒に作る参加型事業でもある空き家のLINE公式アカウント。友だち登録して、あなたのアイデアで進化させてください！

事前予約制(4月22日(木) 17:00申込〆切)

**4/24開催「まちの「つながり」プロジェクト」
申込フォーム**(Google Form / 外部リンク)

※1 先着100名。定員に達し次第締め切らせていただきます。

※2 申込フォームで申し込めない方は、住宅課空き家施策担当までお電話ください。



まちづくりプロデューサー



高橋 大輔氏

共立女子大学家政学部建築・デザイン学科 教授／一級建築士／博士(工学)

国立小山工業高等専門学校建築学科助教授を経て2008年4月より現職。大田区をはじめ空き家を利活用した地域住民の居場所づくりの実践的研究を行う。主な著書に「小さなまちづくりのための空き家活用術」(2017, 建築資料研究社)、「通りからはじまるまちのデザイン(空き家活用術2)」(2019, 建築資料研究社)



菅原 大輔氏

建築家／クリエイティブディレクター／SUGAWARADAIJUKE建築事務所代表取締役／FUJIMI LOUNGE店長

早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了後、日仏の設計事務所を経て、帰国後に事務所設立。「物語る風景」を目指し、まちづくりから建築、被災地支援まで分野を横断したデザインを行い、2019年からFUJIMI LOUNGEを運営。国内外30以上の受賞歴がある世界でも注目の建築事務所。

ファシリテーター



松元 俊介氏

調布市都市整備部住宅課
空き家施策担当係長

平成29年4月に新設された空き家施策担当として配属。新しい公共政策のあり方として、官民パートナー連携による取組を通じ、市民をはじめとした皆さんの関心と共感につながる計画策定と施策推進を試みています。

■主催



■協力

調布市空き家等対策推進協議会
社会福祉法人 調布市社会福祉協議会
共立女子大学
SUGAWARADAIJUKE建築事務所株式会社

三井住友信託銀行株式会社
LINE株式会社
ミサワホーム株式会社
ソーシャルデータバンク株式会社

調布市の空き家事業に関するお問い合わせ
調布市住宅課 042-481-7817
9:00~17:00 (土・日・祝日休)
akiya@w2.city.chofu.tokyo.jp